

西洋史学専修課程紹介

▶ 西洋史学専修課程とは？・・・西洋世界の古代から近現代の歴史について学ぶ

- ✧ 古代アテネの民主政について
- ✧ フランク王国の行政制度について
- ✧ 近世の大西洋革命について
- ✧ 近代パリの都市社会について
- ✧ 第一次世界大戦とロシア革命について
- ✧ 近現代ドイツのジェンダー関係について etc.

▶ 具体的にはどんな勉強をしているのだろう？

- ✧ ゼミが中心 ⇒ 橋場・長井・勝田・池田・北村・菊地各教員の 6 つのゼミ
 - ゼミは講義と違って「学生主体」の双方向型授業！ 研究に必要な基礎技能を習得します。
 - 各教員の専門分野に合わせ、様々な教材を用いて勉強していきます。
 - 外国語文献輪読，邦語文献を利用した討論 etc.

✧ それに加えて様々な特殊講義。先生方が研究している専門的なテーマを扱います。

⇒ 西洋史のほか，日本史・東洋史も一部必修

✧ 柔軟なカリキュラム

- 卒業認定単位のうち，半分は自由に履修できる単位（後期教養や教職課程のものも含まず！）
- 他学部の履修に関して一切制限なし！

⇒ 歴史学に留まらない，幅広い「教養人」としての知の涵養ができます。

✧ 卒業論文 ⇒ 西洋史学専修課程の集大成

- 20,000～40,000 字が目安，註釈は本文の 4～6 割，欧語文献利用必須。
- 文献の探し方，註釈の付け方など，必要な技術は 2 年間を通じて学んでいくので大丈夫！
- もちろん卒論指導も充実しているので安心！
 - ✓ 複数回行われる卒論ガイダンス（3 年生 5 月，4 年生 5 月，10～11 月）や教員との面談
 - ✓ 大学院生の TA による「サブゼミ」（4 年生 6 月以降，複数回）
（進捗状況を発表し，卒論の形式やテーマ設定などアドバイスをもらえる場です。）

▶ 教員紹介

橋場弦	教授	古代ギリシア史（民主政制度，公共圏・民主政コードの成立）
長井伸仁	教授	近代フランス史（フランス革命～第三共和政，パリの都市史，フランスにおけるカトリシズム）
勝田俊輔	教授	近世・近代ブリテン・アイルランド史（イギリス帝国，農民運動，都市ダブリン）
池田嘉郎	教授	現代ロシア史（第一次世界大戦，政治：革命～スターリニズム，帝国とナショナリズム）
北村陽子	准教授	近現代ドイツ史（第一次・第二次世界大戦，戦争犠牲者支援，福祉国家，戦争の記憶文化）
菊地重仁	准教授	西洋中世史（フランク王国史，カロリング朝期の政治文化，統治構造，修道制）
小西正紘	助教	近代イギリス史（民衆政治・政治文化史）

▶ 卒業後の進路はどうなっているの？

- ◇ 民間企業への就職（業種も金融・コンサル・インフラ・メーカー・商社・マスコミ・教育など多種多様）
- ◇ 公務員（国家および地方）
- ◇ 大学院進学（西洋史の院が主だが、他にロースクールや教養の院なども）
- ◇ カリキュラムが柔軟なため、教員免許や学芸員資格のための単位取得も比較的容易ですし、中長期の留学をする人も毎年います。

▶ 西洋史学研究室ではどんなイベントがあるの？

- ◇ 4月：進学者歓迎会
- ◇ 5月：研究室旅行
- ◇ 10月：内定者歓迎会
- ◇ 3月：卒業パーティ

などなど

西洋史学専修課程進学を志すにあたって

▶ 西洋史学専修課程で重要な技量とは？

- ◇ 英語をはじめとする欧語の語学力！これに尽きる（手を抜かずに勉強しておこう）
 - どこで使う？
 - ✓ ゼミでの文献輪読
 - ✓ 卒業論文の執筆（欧語文献を参照して書きます！）
 - ✓ 院試の問題（英語＋もう一ヶ国語）
 - 英語はもちろん、やってみたい地域の言語も必要です。
 - （辞書を引きながらでも）読み書きができれば OK！
 - 語学は本郷でも授業があるので、新たに学び始めることも、再び学び直すことも可能。
- ◇ あとは学ぶ意志さえあれば誰にでも門戸を開いています！

▶ 今のうちに何か勉強しておくべき？

◇ 歴史系の講義

- 歴史社会論、近現代史 etc.
- ただし進学のために優先的にとらなくてはいけないわけではありません。
- あまり細かく時代・地域を絞らずに、幅広く履修するとよいでしょう。

→ 多くの時代・地域に触れておくことは、研究テーマを決める上で非常に役立ちます。

◇ 語学（再登場）

- ゼミ、卒論、院試などと何かにつけてお世話になります。
- 初修外国語の他に、三外でも色々と手を伸ばしてみるといいでしょう。
- 特に古代史・中世史をやりたい人はラテン語・古典ギリシア語に早めに慣れておくと楽！

◇ 導入として、『世界歴史大系』『○○史研究入門』（ともに山川出版社）といった概説書を読んでみるのもよいでしょう。

URL <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/seiyoshi/>

（この資料は西洋史学専修課程の学生が作成し、それを教員が確認したものです）